こども農業新聞

2016年春号

みなさんがくらしている山梨県には、たくさんの畑や田んぼがあり、おいしい果物や野菜、米などがつくられています。農業が持つ働きは、農畜産物を生産するだけでしょうか？「こども農業新聞」をつかって農業が持つ働きや大切さについて考えてみましょう。

JAグループ山梨
発行：JA山梨中央会
〒400-8530　甲府市飯田1-1-20
TEL055-223-3503　FAX055-220-1083
URL http://www.ja-yamanashi.or.jp/
E-mail webmaster@ja-yamanashi.or.jp

みんなのよい食プロジェクト

どうなる、日本の食？と言うか、どうする？

多くの働きを持つ農業を守るため、私たちにできること！

地産地消のとりくみ

地元の農産物・郷土食を知って農業を守ろう！

私たちのくらしは、古くから農業と共に成り立ってきました。特に食生活の中には地元農産物とのかかわりの強いものがあります。昔から地域の風土や習慣により伝えられてきた食べ物を「郷土食」といいます。みなさんの地域に伝わっている郷土食を調べてみましょう。

山梨県の郷土食として「ほうとう」が特に有名です。山梨県は山が多く地形的に米づくりが困難な地域が多かったことから米は貴重な食べ物でした。そこで米に代わって食べられたのが小麦をつかった「ほうとう」などの粉食料理です。「ほうとう」は消化もよく、体を温めてくれ、野菜をたくさん入れることで栄養をバランス良くとることができたのです。他にも「おやき」、「せいだのたまじ」、「すいとん」、「みみ」、「しみいも」など、まだまだたくさんの郷土食があり、地元でとれた新鮮な食材をつかうことで、農業も守りながら、食文化も受け継がれてきたのです。

このように「地域で生産されたものを地域で食べること（地産地消）」が農業の持つ多くの働きを守っていくために大切なことなのです。

地域でとれた新鮮な地元農産物はJAの「農産物直売所」で販売しています。みなさんの地域ではどんな農産物がつくられているのか、直売所で調べてみるのも楽しいですよ！

農産物直売所

ほうとう

せいだのたまじ

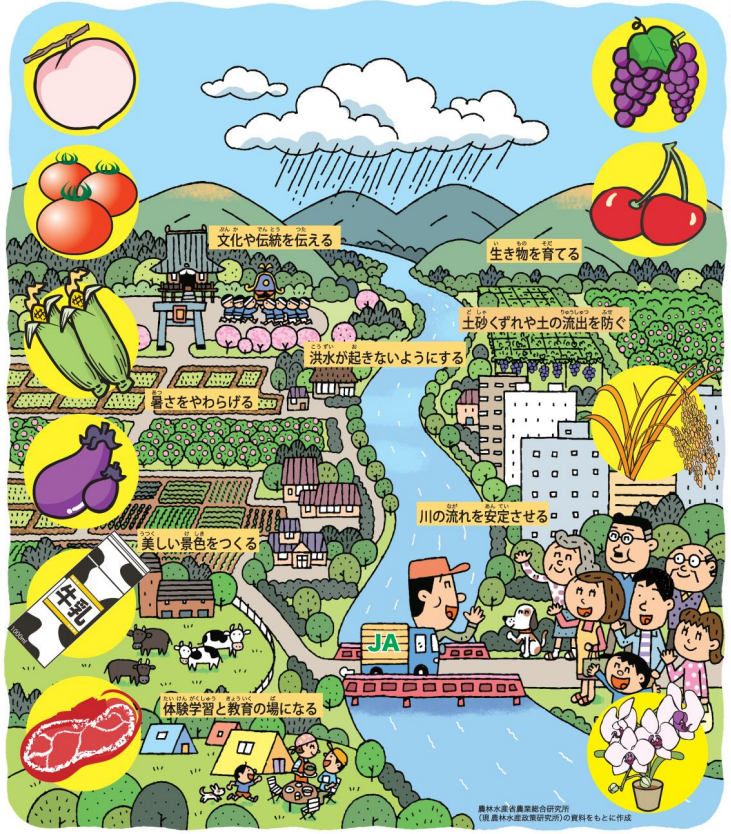
写真提供：上野原市

「せいだ」とは、地域特有のじゃがいもの呼び名で、「たまじ」とは、その中でも特に小さい粒のじゃがいものことをいうことが名前の由来となりました。

みみ

写真提供：富士川町

「みみ」は小麦粉を一口大にねったもので、かたちが「農具の箕のかたちに似ている」「耳のよう」ということが、名前の由来となった説があります。



農林水産省農業総合研究所（現農林水産政策研究所）の資料をもとに作成

農業が持つ働き

農業は、私たちの生活にさまざまな「豊かさ」をもたらしてくれます。田んぼは雨水をためることで、洪水や土砂くずれを防いだり、たくさんの生き物のすみかにもなっています。

また、畑や田んぼは夏の気温を下げたり、果樹は空気をきれいにする働きもしています。春夏秋冬と変わる農村の美しい景色は、変化に富み、ほっとさせてくれる癒やしの空間もつくってくれます。

みなさんの地域には、神社のお祭りがありますか？ 多くのお祭りは農作物の豊作を祈ったり、感謝したりする意味が込められています。農業は昔からの文化や伝統を伝える役割も果たしているのです。このような農業が持つ多くの働きを「農業の多面的機能」といいます。

私たちのくらしを支えてくれている農業の大切さを知り、しっかりと守っていくことが大切です。

和食

日本型の食生活を支える“和食”
日本食は世界も注目！

今、日本食「和食」が世界中で注目されています。平成25年12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。四季があり自然豊かな日本の農地から生産される多彩な農畜産物をつかったバランスの良い食事。さらに日本人の食を思う気持ちや習慣、伝統的な食文化のすばらしさが登録されました。

農業は、私たちのくらしに欠かすことのできない大切なものです。農業の持つ多面的機能は、決して外国から輸入することはできません。

農業を守るために、私たちにできること、それは、地域で生産されたものを地域で食べること（地産地消）、日本の「食」を大切にすることです。

※「ユネスコ」とは、「国際連合教育科学文化機関」の略称であり、「無形文化遺産」とは、文化や風習・伝統などの無形のもの（無形文化財）を保護するために定めたしくみです。

（農林水産省の「和食」の保護・継承に向けた検討会「各種調査概要」をもとに作成）

日本型の食生活

バランスの良い日本型の食生活を心がけよう

農業が持つ多くの働きを守るために、今すぐみなさんにできることがあります。

今、多くの食べ物が外国から輸入されています。輸入品に頼った食生活では、日本の農業がなくなってしまいます。

農地が利用され、農業が持つ多くの働きが発揮されるためには、ごはんを主食に魚や野菜、肉、果物などの栄養バランスの良い日本型の食生活を心がけることが大切です。